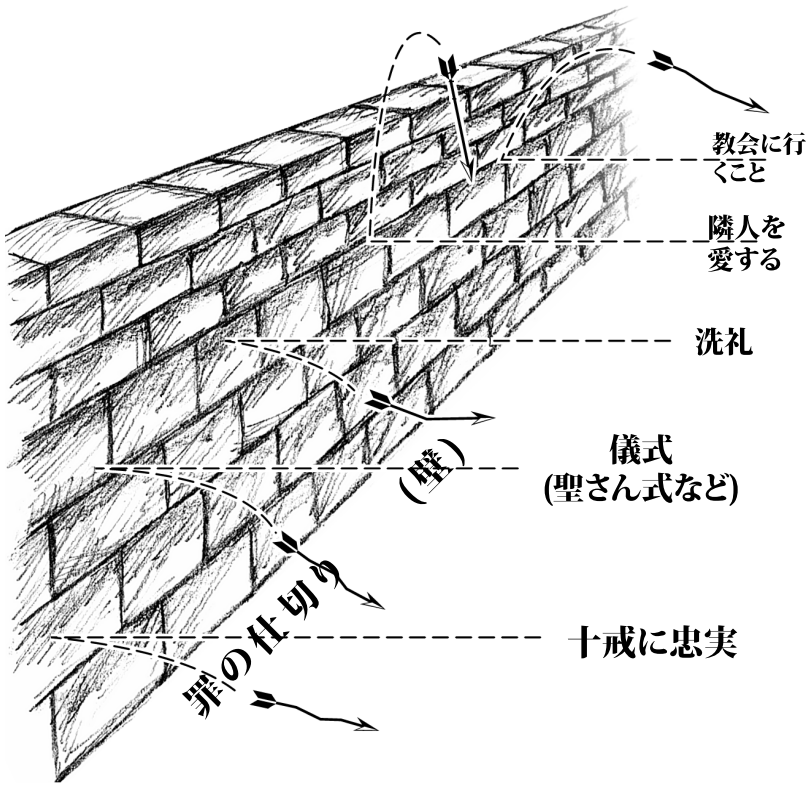
人の努力はすべて無効

私たちは常に神との断絶の仕切り(壁)を乗り越えたいと思い、その努力に励みがちです。例えば、教会へ行って洗礼を受けるとか、良い行いをするとか、隣人を愛するとか、儀式を守るとか、教会などに加わるとかいったような事です。残念ながら聖書は、どのような努力をもってしても神と人との仕切りを取り除くことができないと教えています。



聖書は教えます。

> 「私たちはみな汚れた者のようになり、私たちの義はみな、汚れた着物のようです。」
> (イザヤ書64章6節)

罪を取り除くためにいろいろする努力はむだのようです。ちょうど自分の汚れた顔をふくのに、油まみれの手ぬぐいを使うようなものです。人は自分の罪を取り除き、自分と神とを隔てた壁を乗り越えるのにふさわしい物は何も持ち合わせていません(参照聖句、ハガイ書2:12―14;ルカ伝18:10―14;ローマ人3:20、27―28、4:5;ガラテヤ人3:10―11、21)。

福音

「福音」とは、喜ばしい知らせという意味です。私たちは、この罪の状態のままでは、けっして神に出会うことはできません。それ故に、神は天からイエスを私たちの罪の身代わりに死ぬために送って下さいました。そして三日目にイエスを死から、よみがえらせました。

> 「兄弟たちよ、私はあなたがたに福音を知らせましょう...キリストは聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、そして葬られたこと、聖書に従って三日目によみがえられたこと、」
> (第1コリント人15章1―4節)

福音とは、イエスが私たちの罪の身代わりとして死んで下さり、
勝利の印として死からよみがえられたことなのです。

イエスは私たちの罪の身代わりに死んで、その死からよみがえったことにより、罪の仕切り(壁)を取り除いて下さいました。

イエスは死んで、その死からよみがえったことを私たちは本当に信じるのですが、いったいイエスは私たちの罪の身代わりに死んで下さったというのは、どういう意味なのでしょうか。そして、どのようにしてイエスの死は、神と人との隔たりの壁を取り除くことができたのでしょうか。